

# 第6章

## 年間作業曆事例

年間作業暦は、ヒノキの採種園に従事する人々が採種園の管理にあたり、季節の変動や気候の特性を考慮して計画を立てるための指標である。一年の中で、どの時期に何をすべきかを示すカレンダーとして、作業を効率的に進めるために不可欠なものである。ここでは東京都と愛媛県のミニチュア採種園、静岡県の子花粉採種園の事例を紹介する。実際には、それぞれの場所において作業暦を作成することが必要である。

### ■ 東京都 少花粉ヒノキミニチュア採種園 年間作業暦

作業種	使用機械・薬剤名および場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
整枝剪定	場所 前年種子採取箇所										1月中旬から3月中旬 ↔		
植栽 (補植)	場所 全採種園 (枯れた箇所)												↔
施肥	資材 IB化成・硫安 場所 全採種園												↔
カメムシ 防除	資材 サンサンネット0.8mm目合 場所 球果が着生している枝	4月下旬 (GW前) から採種日まで ↔											
除草	場所 全採種園 防草シート敷設のため採種木の根元のみ、手作業 (毎月1回)		↔	↔	↔	↔	↔						
着花促進	資材 ジベレリンペースト、1.0ml シリンジ、200μlピペットチップ、 サージカルテープ 場所 次年種子採取箇所					↔							
球果採取	資材 剪定鋏、みかん鋏、手もぎ 場所 当年種子採取箇所							↔					
種子精選	資材 1.4mmまたは1.7mm篩、シリ カゲル							↔	↔	↔	↔	↔	↔
発芽検定	資材 滅菌シャーレ、たねピタ 機械 人工気象器										↔	↔	
種子貯蔵	機械 冷凍庫-30℃	↔											

## ■ 愛媛県 ヒノキミニチュア採種園 年間作業暦

作業種	使用機械・薬剤名および場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土壌・施肥管理	機械 (中耕) 小型耕運機 (施肥) アースオーガ 肥料 まるやま1号 場所 全採種園									←→	←→		
防除	資材 サンサンネット0.8mm目合 場所 全体：球果が着生している枝	←→											
整枝剪定	機械 電動剪定鋏 資材 異形鉄筋 30mm幅選木テープ シュロ縄 場所 全体：樹体内ローテーション	←→										←→	←→
ジベレリン埋設	資材 2.5mlシリンジ 200μlピペットチップ クラフトテープ 薬剤 ジベレリンペースト 場所 全体：樹体内ローテ				←→								
球果採取	資材 ベリーピッカー 場所 全体：樹体内ローテーション							←→					
種子精選貯蔵	資材 1.4mm、1.18mm篩 シリカゲル 機械 低温庫 (4°C) 冷凍庫 (-30°C)	←→								←→			←→
除草	機械 手持ち刈払い機 時期 作業の直前 場所 全体	←→	←→			←→		←→			←→		
発芽検定	機械 低温庫 (4°C) グロースキャビネット 資材 滅菌シャーレ、定性ろ紙										←→		
その他	機械 (捕植) アースオーガ (間伐) チェーンソー 場所 全体												←→

## ■ 静岡県 ヒノキ少花粉採種園 年間作業暦

作業種	使用機械・薬剤名および場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土壌・施肥	施肥 0.13ha											↔	
整枝・剪定	少花粉ヒノキ採種園 113本									断幹・整枝・剪定 ↔			
カメムシ 防除・ ネット配置	防虫ネット 1900枚		↔										
ジベレリン 処理	作業実績なし 自然着花のみ												
球果採取	197個採取							↔					
種子精選・ 貯蔵	自然乾燥								乾燥・精選 ↔				
薬剤散布	動力噴霧機使用				↔								
下刈	年2回 0.13ha		↔				↔						
発芽検定	水浸漬処理 恒温器使用								↔				
その他	育種場運営管理	↔											

※静岡県西部農林事務所の2024年度年間作業実績から作成